

公表	放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表
----	--------------------------

○事業所名	永寿の里 若葉 (ひなたぼっこ)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日	～	令和8年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和8年1月26日	～	令和8年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	敷地内に成人の入所と通所施設があることで、将来の見通しや卒業後のイメージが持ちやすい。	保護者からの相談があった際には、成人施設の職員に相談も出来るような体制を取っている。 生活介護の施設内のイベントに参加するなど、子どもたちと成人施設の交流を持っている。	保護者からの相談や悩み柔軟に対応していく。
2	施設が大和川の河川敷近くにあり、敷地内にはグラウンドがある。のびのびと屋外活動を行うことができる。 周辺に大型スーパードなどが多くあり、買い物など社会経験の幅を広げる環境がある。	河川敷や公園などの周辺の環境を屋外での活動に積極的に取り入れることで、子どもたちの活動に幅を持たせることができる。	安全に子どもたちが活動できるよう、定期的にグラウンドの環境整備を行っていく。 周辺の社会資源を活用し、子どもたちが様々なことを経験できるようにしていく。

3			
	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は十分とは言えない。</p>	<p>退職者の数に対して、入職者数が追いついていないため、放課後等デイサービス部門だけでなく、法人全体が人員不足になっている。</p>	<p>前年度から始めた学生向けのオープン・カンパニーを継続し、法人の魅力をアピールしていく。</p>
2	<p>子どもたちの卒業に伴い、利用人数が少なくなっているため、新たに子どもたち同士での交流ができる機会は少なくなっている。</p>	<p>卒業生に対して新規利用者の数が少ないため、全体の利用人数が少なくなっている。</p>	<p>新規利用獲得のために営業活動を継続し、施設のアピールをしていく。</p>
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	永寿の里 若葉 (ひなたぼっこ)
------	------------------

公表日 年月日

利用児童数 10

回収数

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					今後もグラウンドや屋上散歩などを行い、雨天時などの屋外活動ができない時には、室内でも安全に活動できるよう取り組んでいきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1	1	1	通所している一人一人の特性や困りごとなどそれぞれ違うのでそれに対応するとすると支援員の方の数は少なく感じることもあります。(支援員の方の負担も大きく大変です)	保護者様の皆様にはご不安な点もあるかと思いますが、今後も人材の確保と合わせて、従業員の積み上げた経験などを活かし、保護者様や子どもたちに安心して過ごしてもらえよう、今後も一人ひとりに寄り添った支援を心がけていきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					保護者様、お客さまの希望がある場合は、設備の配置換えをするなどの対応をさせていただきます。怪我等により階段の使用が難しい時はエレベーターを使用し、安全に移動できるように配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					運動もできるグラウンド・屋上もあり無理なく外でも過ごせる環境は本人にもいい空間になっているかと思います。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					契約時や年2回のモニタリング時に保護者様の要望や気になる点を聞きとり、支援計画を作成させていただきました。今後も保護者様との関わりを大切にしていき、子どもたちの変化に対応した計画の策定と支援を続けていきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				1	室内では個人で楽しめる、めりえやアイロンビーズ活動。数人で遊ぶカードゲームなどで遊び、屋外では散歩や併設のグラウンドで鬼ごっこや野球など全体活動も行い、その日に子ども達がしたいこと、やってみようことなどの意見を取り入れた活動を行っています。今後も活動の工夫をしながら心身の発達に応じた活動を提案していきます。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	1	1	2	求めています。	保護者様や子どもたちから要望があった場合、検討していきます。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6						
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6						

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3		1	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6					今後も保護者様と様々な事を話しやすい、相談しやすい関係作りを行って行きたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					連絡帳や面談などで困りごとなどを伝えて共有してもらえてるので、本人も過ごしやすく保護者も安心しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					お困りごとなどございましたら、面談時だけでなく、送迎時や連絡帳、またお電話でも相談を受け付けております。今後も、保護者様が気軽に相談できる事業所を目指していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	3		子育て応援講座は開催できていませんが何かありましたら気軽にご相談ください。また今後状況が落ち着きましたら応援講座の開催も検討していきたいと思えます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5			1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					言語での意思表示が難しいお子さまには写真や絵カード、文字を用いるなど一人ひとりに合った対応をさせて頂いています。今後も、子どもたち、保護者様の気持ちに寄り添い、コミュニケーションの工夫を行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6				活動を写真で知らせてもらえて嬉しいのです。	今後も広報誌「ひなたぼっこだより」や「風華」にて子どもたちが活動する様子をお伝えしていければと思います。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					個人情報の取り扱いについては、今後も留意しながら、情報の発信・共有を行っていきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6					定期的に感染症BCPマニュアルについての訓練を行っております。今後、安全計画マニュアルや感染症予防の取り組みなど、時期に応じ、広報紙などを通してお知らせさせていただきたいと思えます。ご不明な点がございましたら、お声掛け下さい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6					毎月一回、避難訓練を実施しています。利用回数、利用曜日によっては参加できていない方もいらっしゃるため、満遍なく行えるように曜日を変えて訓練を実施しております。利用確認表に避難訓練予定日を記載し、連絡帳や広報誌にて実施日や内容をお知らせしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6					今後も保護者様にも安心してご利用していただけるよう、一人ひとりに寄り添った支援を心がけて行きます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	1			毎日ルーティンのように無難なく通えていますが、本人の意思がわからないこともあり、疲れたり、不安定でも我慢して行っていないかと思うもあります。行くと本人に会った支援助のもと、マイペースで過ごせていることが多いと思えます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				いつもありがとうございます	

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		永寿の里 若葉 (ひなたぼっこ)				公表日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2		室内の他にも活動ができるように、グラウンドや屋上などを使用している。今後も環境整備を努めていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	基準は満たしているが、十分ではなく必要人数には足りていない。今後も人材の確保を行っていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2		わかりやすいように構造化は行っている。	怪我等で階段での移動が困難な場合は、エレベーターを使用しているが、室内はバリアフリーの環境に整っていない。ニーズや必要に応じて、室内環境を工夫していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	1		壁紙など剥がれている箇所が多くなっている。今後もこども達が活動しやすい環境の整備を行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	1	必要に応じ、個別にグラウンドや1階で過ごせるようにしている。	個別の部屋までは準備できていないが、こども達の状況に合わせて、1階やグラウンドを使用して個別の対応を行っていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2			支援のことや、業務についての目標を毎月設定して、振り返りを行っている。改善事項や新たな取り組みなどがある場合は、従業員間で話し合いを行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		頂いたご意見や評価については、従業員間で話し合い、改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		気になったことなどは職員間で共有し、すぐに改善につなげられるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2			第三者委員の先生に支援や環境整備について見て頂き、評価や指摘を頂いている。評価、指摘については迅速に改善に努めている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2			定期的に外部研修やオンライン研修を受講している。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2		面談で直接話をするだけでなく、参加できない保護者にもアンケートを実施するなど意見をもらえるようにしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2			従業員全員が意見を出し合う時間を設け、子ども達との関わり方についてや、子どもたちのしたいこと、やってみたいことが、実現できるように従業員間で準備、話し合いを行っている。また一人ひとりの可能性を大事にし、活動の幅を広げられるようプログラムに誘ったり、新しい活動の提案をして行きたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	1		人数体制も踏まえて柔軟に対応するように努力はしており、多少の固定化はあるが色々な活動を提供できるよう工夫している。固定した活動を好む子どもには、無理に活動の幅を広げず、楽しく過ごしてもらえるように努めている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2			今後も子どもの特性や状況に応じて、保護者様の支援の希望も取り入れながら支援計画を作成していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		前日の情報の引き継ぎ、対応の仕方など話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	1	終了後すぐには出来ないが次の日には情報の共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		活動の様子だけでなく、情緒など気づいたことは積極的に記録に残して支援につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	2			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2		学校と施設での本人の様子だけでなく、施設での支援に関する方向性など共有できることは伝えるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	1		現在該当ケースは無いが、必要に応じて情報共有と相互理解に努めていく。必要に応じて行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		必要に応じて支援計画やアセスメントなどの情報を提供している。その際、保護者様へ情報提供の許可を得てから行っている。	情報を求められれば提供している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		2		保護者様や子どもたちから要望があった場合、検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2			平野区内のデイサービス連絡会に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			共通理解が持てるように、送迎の際や連絡帳を通して伝えている。また、随時電話等でも話をして共通理解を深めている。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	研修は行っていないが、保護者様への情報提供はモニタリング面談などで行っている。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			契約時に説明をしているが、不十分な部分もあるため、契約後も個別の質問に応じたり、補足説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		面談で直接話ができない場合もアンケートを配付する等、意向を確認できるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2			半年ごとのモニタリング面談時に保護者様の不安、気になっていることなどに意識を向け、相談にのっている。また、面談だけでなく、電話、連絡帳などでも相談を受け付けている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		2		ニーズがあれば保護者様同士が連携できるような場作りを考えていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			苦情があった場合は迅速に対応している。その他ご意見など頂いた場合には従業員間で話し合いを行い、よりよいサービス提供ができるように努めている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2			「ひなたぼっこだより」や事業部全体の広報誌である「風華」を通して、活動の様子を伝えている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		学校からの引継ぎ内容を、従業員間で共有する際も、他者に聞こえないように話をする等している。	情報提供同意書に基づいて、十分注意している。他事業所へ情報提供する場合は、保護者様の許可を得てから行うようにしている。お客さまの前で情報を共有することに関しては、従業員同士で声を掛け合い注意することや、チーム会議の場で情報共有の仕方について話し合い、改善を図る。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		言葉以外にも写真や絵カードを用いて情報伝達のための配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2		コロナ以降地域への行事が実施できていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			感染症のマニュアルや防災マニュアルの見直しを障がい事業内で行い、保護者様へ配布している。また、感染症発生時の対応についてのガイドラインを運用している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2		曜日によって利用するこどもが違うため、毎月、訓練を実施する曜日を変えて全てのこどもが訓練に参加できるようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2			保護者と情報共有を行ない、適切な対応を心掛けている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		2		現在アレルギー対応が必要な子どもがいない。アレルギーの確認は行っているが、必要に応じ保護者様と相談しながらアレルギー食の対応を行って行く。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	1		御家族への十分な周知は行えていない。今後周知の方法を検討していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			虐待防止研修に参加し、虐待防止委員会を設置している。また、それとは別に、月に一度自分自身の言葉使いについて振り返りや見つめ直しを行い、従業員間でより良い支援になるよう取り組んでいる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2			現在、該当する児童がいないため、支援計画には記載しておらず、保護者様への説明もしていない。今後も身体拘束が必要のない支援を心がけていく。